

東京支部の活性化に向けて

支部長 佐久間昇二（高2回）

2007年6月に支部長に就任。その年の総会出席者は442名でした。前回支部長に就任した10年前と比較し、100名以上出席者が増加。下山支部長を中心にして支部の役員の皆様の大変な努力に心から感謝をいたしております。

ただ、登録会員数の変化を見ますと、この10年の間に大きな変化が起こっています。40代、30代の会員数が

40代（'97）615名 → （'07）59名 30代（'97）121名 → （'07）1名
と激減。このまま放置し、30代・40代の方々に支部活動への協力を求めて手を打たない限り、支部はまさしく老齢化していくと強く感じました。

そこで、まず40代の方々と会い、意見交換をしました。高校29回から38回卒業生までの10年間の卒業生、それぞれの年次で6名前後の方々と昨年9月から今年6月まで10回に分けて懇談の場を持ちました。

幹事長柴田さん、途中から組織担当上野さんも参加。テーマとして、

- 1つ：同窓会をどのように捉えているか。参加することに意義を感じているか。いや、いや、不参加と思っているか。
- 2つ：会員になり、総会に出てもよいと思いつつも、なぜ今まで会員登録あるいは総会に協力いただけなかったのか、我々の方にどんな手落ちがあったのか。
- 3つ：支部活動についてどんなことを望んでいるのか。

以上3点を中心に、55名の方々と面談をしました。

その結果を書き出してみますと、

■ 第一の質問について

全員の方が支部の活動と総会が必要と考え、協力の意向を表明されました。

■ 第二の質問

今まで、なぜ協力できなかったかについては、

1つは通知が全然きていない。

2つは、通知はきていて、過去1回総会に出席したが、私一人だけだった。あるいは友達と二人だけだった。何か全体の中に孤立している感じがして、次からは行く気がしなくなった。

3つめ。同期会ができ、それに出席すれば、総会は「まあいいか」となってしまった。その中で最も大きな理由は、「知らなかった」、あるいは「知らされていない」ということ。即ち、問題がネットワークづくりにあることがわかりました。

■ 第三の質問

支部活動については、機関誌、総会だけでなく、何か、新しい取り組みが欲しい。また、3,000円の会費が高すぎないか。それが何に使われているかもきちんと明らかにしたほうがいい、などの意見がありました。

総会に対する期待感としては、

一つは、同期生が5人、6人あるいは10人と集まり、総会の後に同期会を開ければ最高ねという意見。

二つは、せっかく総会に出るのであれば、自分たちの同期だけではなくいろいろな方に面談、懇談できる場が欲しい。

例えば著名な方々が先輩の中にいらっしゃる、そういう方とお話できる場が欲しい、あるいは、先輩や後輩の中で是非知り合いたい方々との交流の場になればありがたい。つまり同期の交流だけではなくて、校友全体の中で自分の望む交流をしたいというご希望が強かった。

総会の運営についても、いろいろ意見がありました。前置きが長すぎてダレてしまう。ウェルカムドリンクがあって、飲みながら話を聞くというように。エンタテインメントは無理してやる必要はない、など。

その後開かれた評議員会でこのことを報告し、評議員の方々からいろいろご意見をいただきました。例えば「東京支部総会」という名称は固過ぎる、今回は「高田高校祭」にしたらとのご提案があり、採用させて頂きました。また、世代を超えて交流しやすくなるように、会場の設営を変えました。著名な先輩として下山さん、庄山さんには、大変でした若手の皆さんとの交流に積極的に参加をしていただきました。

今回の総会は終わりました。まだまだ反省すべき点があります。そこで今後、3年間のスケジュールを作って会員強化に臨みます。

まず29回から38回の代表の方々に集まって頂き、反省会とこれからの対応について、ご意見を聞こうと思います。

第2ステップは、全面的に会員登録の仕方を新しくしたい。そのやり方の具体案を年内に片付ける。

来年の第一年度は、総会までに40代・30代の数学年をモデルとして、そのネットワーク作りと総会に向けての会員づくりをトライします。

第二年度は、第一年度の代表のケースの動向をよく見、反省の上に立ってさらに枠を広げてみよう。

そして三年度目は、50代・40代・30代全員の方々の世代に行き渡ったネットワーク作りと支部活動への対応を完成させていこう。

60代・70代の方々は、支部活動については大変なご協力をしていただいています。この方々のご協力を引き続き頂きながら、一方では50代・40代・30代の方々に、これからの校友会を力強く推進する力になって頂く。そのことを3年がかりでやりたいと思います。各年次の評議員の方々、リーダーになっていただいた方々のご協力とご支援を心から願うものです。

29～38回卒業生の出席状況

	29回	30回	31回	32回	33回	34回	35回	36回	37回	38回	計	
'07	5	12	6	5	2	2	1	2	0	0	35	(100)
'08	2	10	9	5	3	3	7	2	7	6	54	(147%)
差引	-3	-2	+3	0	+1	+1	+6	0	+7	+6	+19	